

## 第 5 次福島町総合計画

「基本計画（案）」の目標とする指標の数値及び設定の考え方



## 目標とする指標の数値及び設定の考え方

### (1) 地域資源を活かした活気あるまちづくり (産業)

#### 1 水産業 (水産加工業)

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
漁業協同組合員数 (人)	166	164	162	160	158
漁業協同組合取扱金額 (百万円)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
コンブ生産量 (t)	500	500	500	500	500
水産業担い手支援者数 (人)	23	23	25	27	29
水産物地域ブランド化取組件数 (件)	3	5	5	5	5

設定の考え方
H22 から H26 の平均で 8 人の減少があるが、担い手支援者数 6 人の目標で年 2 名の減少に抑える
現状の取扱金額を維持 ※漁組、中長期経営計画 (H27~H32) による
現状の生産量を維持 ※漁組、中長期経営計画 (H27~H32) による
毎年 2 名の新規着業を目標に取り組む
マグロ、コンブ、スルメ、アワビのブランド化に取り組む

#### 2 農業

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
専業農家戸数 (戸)	8	8	8	8	8
経営耕地面積 (ha)	125	125	125	125	125
米収穫量 (t)	82	87	87	100	100
農林業担い手支援者数 (人)	1	1	2	2	2
農産物加工品取組件数 (件)	8	9	9	10	10
有害鳥獣駆除従事者数 (人)	4	4	4	4	4

設定の考え方
現状の専業農家戸数を維持
現状の耕地面積を維持
北海道からの生産目標により設定、平成 30 年以降減反政策廃止による作付面積増
現在 1 名、新規 2 名を目標
黒米で 8 品の加工品があり、今後は、そばの加工品の開発に取り組む
現状の従事者を維持

### 3 林業

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
林業専用道の整備延長 (m)	10,173	10,173	10,473	10,973	11,373
森林整備面積 (ha)	17	20	20	20	20
原木シイタケ生産量 (t)	10	10	10	10	10

設定の考え方
過去3年間の平均を基に R3 年度より毎年 400mの整備で設定
H26 年の実績を基に森林整備面積を増加する
H28 年以降新規就農等により生産量の増に取組む ※過去3年間の平均を基に設定

### 4 商工業、地場産品

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
商工業者数 (件)	222	216	210	204	198
商店街を利用したイベントの年間開催数 (回)	2	2	2	2	2
物産展等への年間参加回数 (回)	4	4	4	4	4
物産展等への年間参加事業者数 (社)	1	2	2	2	2
商工会への補助事業件数 (件)	2	2	2	2	2

設定の考え方
過去の減少数は年平均約8件 平均6件以下の減少に抑える
現在行われている商店街イベントを今後も維持
参加回数は現状を維持するとともに、さらなる出店を目指す
2社以上の参加ができるよう支援
商工会経営改善普及事業 プレミアム付商品券発行事業

## 5 観光・交流

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
観光客の年間入込数（人）	75,446	80,000	85,000	90,000	95,000
横綱記念館の入館者数（人）	11,018	11,000	11,000	11,000	11,000
青函トンネル記念館の入館者数（人）	9,151	10,000	10,000	10,000	10,000
観光イベントの年間開催数（回）	7	7	7	7	7

設定の考え方
8万人前後で推移している観光客入込数を、岩部クルーズ等との相乗効果を見込んだ目標数値で設定
過去5年間の平均入館者数を基に目標数値を設定
過去5年間の平均入館者数を基に目標数値を設定
現状のイベント数を今後も維持

## 6 産業創造と雇用労働対策

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
産業活性化サポート事業の補助件数（件）	2	2	2	2	2
農林水産業担い手支援者の総数（人）※再掲	23	23	25	27	29
進出企業サポート（件）	0				1
起業件数（件）	0				1

設定の考え方
H28 から H30 まで各年 1 件の実績 毎年 2 件を目標に取り組む
水産業及び農林業担い手支援者の再掲
1 件以上の企業誘致及び起業を目指す
1 件以上の企業誘致及び起業を目指す

(2) 笑顔と健康を守るまちづくり (保健・医療・福祉)

1 保健予防、健康づくり

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
特定健診の受診率 (%)	26	55	60	60	60
特定健診の保健指導率 (%)	75	80	80	80	80
肺がん検診年間受診者数 (人)	375	440	440	440	440
健康フェスティバル来場者数 (人)	200	220	220	220	220
吉岡温泉の年間利用者数 (人)	65,120	66,000	66,000	66,000	65,000

設定の考え方
第2期特定健診等実施計画 (H25~29) 及び第3期計画 (H30~34) 予定見込みによる目標
第2期特定健診等実施計画 (H25~29) 及び第3期計画 (H30~34) 予定見込による目標
いきいき健康ふくしま21後期行動計画 (H25~29) 及び第2期計画 (H30~34) 予定見込による目標
健康フェスティバル来場者維持を目標
人口減少しているが、利用者6万人台の維持を目標

2 地域医療

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
医療機関数 (医院)	4	4	4	4	4

設定の考え方
現在の医療機関数維持を目標

3 地域福祉

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
介護生活支援サポーターの登録者数 (人)	43	43	43	43	43

設定の考え方
現在登録の43人維持を目標

#### 4 高齢者の福祉

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
要介護者の割合 (%)	16%以下	20%以下	22%以下	24%以下	26%以下
老人クラブの加入率 (%)	20	20	21	21	22
ふれあい教室年間開催数(回)	70	90	90	90	90

設定の考え方
第6期介護保険事業計画（H27～29）及び第7期計画（H30～32）予定見込みによる目標
現在の会員数維持を目指す ※現在12クラブ、約380名が加入
現在の開催予定数維持を目標

#### 5 障がい者の福祉

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
障がい者団体会員数(人)	20	20	20	20	20
ふれあいスポーツ大会、渡島障がい者福祉・スポーツ大会参加者数(人)	6	10	24	10	24
バリアフリー化されている公共施設数(箇所)	12	12	12	12	13

設定の考え方
現在の会員数維持を目標
現状の参加人数を維持 ※ふれあいスポーツ大会 10人 渡島障がい者福祉・スポーツ大会 14人(隔年開催)
改修予定施設を見込み目標設定

#### 6 生活福祉、社会保障

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
要保護世帯数(世帯)	106	105	104	103	102
特定健診の受診率(%) ※再掲	26	55	60	60	60
要介護者の割合(%) ※再掲	16%以下	20%以下	22%以下	24%以下	26%以下
国民年金制度等の町民周知年間回数(回)	12	12	12	12	12

設定の考え方
北海道が行う就労支援等により、保護世帯の自立を目指す
第2期特定健診等実施計画（H25～29）及び第3期計画（H30～34）予定見込みによる目標
第6期介護保険事業計画（H27～29）及び第7期計画（H30～32）予定見込みによる目標
現状の周知回数を維持 ※国民年金は毎月、町広報に掲載し周知。また、国保等の制度改正等は、随時、町広報等で周知。

(3) 豊かな環境で、住み良さを実感できるまちづくり (生活環境)

1 土地利用

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
遊休農地の解消面積 (ha)	0	-	-	-	1
水源涵養町有林面積 (ha)	565	565	565	565	565

設定の考え方
桧倉地区の遊休農地を0.5ha 解消
現状を維持

2 自然保護、環境共生

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
自然保護監視員活動回数 (回)	78	78	78	78	78
浄化槽の普及率 (%)	20	22	24	26	28
広報等による環境保護意識の啓発回数 (回)	5	5	5	5	5

設定の考え方
現状を維持 監視員 年48回 青い山脈 年30回
浄化槽の設置促進により普及率上昇を目指す ※循環型社会形成推進地域計画に基づき設定
現状の周知回数を維持

3 公園・緑地、景観、環境美化

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
ボランティア清掃活動数 (回)	8	8	8	8	8
町が管理している街路樹本数 (本)	142	142	142	142	142

設定の考え方
現状の清掃活動回数を維持
現状の街路樹本数を維持



#### 4 ごみ処理、リサイクル

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
集団資源回収年間排出量 (t)	58	60	62	64	66
一般ごみの一人当たりの排出量 (t)	0.37	0.36	0.35	0.34	0.33
ごみの総排出量に対する資源ごみの割合 (%)	6	9	12	15	17

設定の考え方
集団資源回収排出量の増加を目指す ※ごみ減量化推進員会議等で協議
一般ごみ排出量の削減を目指す ※ごみ減量化推進員会議等で協議
資源ごみ化の促進により増加を目指す ※ごみ減量化推進員会議等で協議

#### 5 水道、排水・し尿処理

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
老朽配水管更新計画延長の更新率 (%)	42.0	55.8	72.5	86.2	100.0
浄化槽総設置基数 (基)	138	148	158	168	178

設定の考え方
R5年度に更新率100%を目指す
循環型社会形成推進地域計画に基づき設定

#### 6 道路網

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
沿線自治体と連携した地域高規格道路の年間活動要請回数 (回)	4	4	4	4	4
町道整備補修延長 (m)	820	654	287	1182	507
町道の除雪延長 (km)	38	38	38	38	38
除雪堆積箇所数 (箇所)	52	52	52	52	52
橋梁長寿命化計画に基づく橋梁補修件数 (件)	1	1	1	1	1

設定の考え方
期成会での要請活動(札幌・東京)の他、開発局協議や政党等懇談会で要請
年度ごとの整備延長(累計)
除雪延長を維持
堆積箇所数を維持
橋梁長寿命化計画に基づく補修件数

## 7 公共交通、情報通信

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
デマンドバスの年間利用者数(人)	2,760	2,760	2,760	2,760	2,760
路線バス維持に関する協議会開催回数(回)	2	2	2	2	2

設定の考え方
H30年度(H29.10~H30.9)の実績数2,760人を維持することを目標
渡島地域生活交通確保対策協議会の開催回数

## 8 住宅

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
公営住宅等長寿命化計画に基づく公営住宅の住環境向上戸数(戸)	0	4	0	0	0
空き家バンク登録件数(件)	2	3	3	3	4
定住促進住宅等奨励金補助件数(件)	3	3	3	3	3

設定の考え方
公営住宅等長寿命化計画に基づく戸数(累計)
4年間で登録件数を2件増とすることを目標
H28からH30までの3年間で7件の実績 毎年3件を目標に取り組む

## 9 児童福祉、子育て支援

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
ゆりっこ広場の年間開催数(回)	40	40	40	40	40
乳幼児健診の実施数(回)	12	12	12	12	12

設定の考え方
事業内容の充実を図りながら、現状の開催数を維持
現在の月1回開催(年12回)の維持を目標

## 10 火葬場、墓地

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
墓地公園の未許可区画数(区画)	59	54	49	44	39

設定の考え方
年間の許可数を5区画で設定

### 1.1 防災

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
防災訓練回数（回）	1	1	1	1	1
防災活動を行っている自主防災組織数（組織）	38	38	38	38	38
治山事業要望箇所数（件）	9	9	9	9	9

設定の考え方
全町的な防災訓練を最低年1回実施
地域防災計画に基づく町内会や日赤・消防関係団体等の自主防災組織38団体を維持
H27年度要望の治山・急傾斜地整備要望箇所数を目標

### 1.2 消防・救急

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
防火意識高揚イベントの年間開催数（回）	4	4	4	4	4
住宅用火災警報器の設置数（%）	67	70	75	80	85
普通救命講習の年間受講者数（人）	105	110	115	120	125
消防計画に基づく施設等整備件数（件）	2	1	1	1	1

設定の考え方
現状年4回開催、現状開催数を維持する
全国平均の82%を上回ることを目標に段階的に住宅用火災警報器の設置に向けた普及啓発に取り組む
4年後の125人を目標に段階的に普通救命講習の年間受講者数の増加に向けて取り組む
消防ポンプ自動車、高規格救急自動車、分団器具置場、動力ポンプ付分団積載車を計画的に整備更新

### 1.3 交通安全・防犯

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
死亡交通事故の発生件数（件）	0	0	0	0	0
防犯啓発イベントの参加回数（回）	3	3	3	3	3

設定の考え方
交通安全運動の基本である「死亡交通事故0」を目標
春・秋・歳末に実施している防犯啓発を維持

(4) 学び合い、たくましい人を育てるまちづくり（教育・文化）

1 生涯学習（推進体制）

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
文化系生涯学習ボランティアの人数（人）	40	40	40	40	40
町民一人当たりの図書年間貸出冊数（冊）	4.6	5	5	5	5
町民の図書室利用者登録数（人）	509	600	600	600	600

設定の考え方
文化系生涯学習ボランティア登録者+図書ボランティア人数のH30年度末数値の水準を維持
年間貸出冊数/当該年度人口のH30年度末数値の水準を維持
人口は減少しているが、図書室利用登録者数600人を目標

2 幼児教育、学校教育

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
学校給食における地場産物の使用割合（%）	48	50	50	50	50
福島商業高等学校への入学者（町内外含む）数（人）	12	12	12	12	12
学習支援等臨時教員配置数（人）	3	3	3	3	3
先進地視察研修の派遣教員数（人）	10	10	10	10	10

設定の考え方
福島町産の米の使用割合の目標を現状以上の50%で設定
高校存続のため令和元年度の入学者数を維持
学習支援員（2名）・臨時教員の継続配置
各学校から教員9名及び代表校の校長（教頭）

3 社会教育、青少年の育成

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
全講座の年間参加率（%）	11	10	10	10	10
高齢者学級年間開催数（回）	5	5	5	5	5

設定の考え方
全講座の参加人数/当該年度人口のR元年度の現状数値の水準を維持
H30年度の運営委員会において年間開催回数を5回としたため

#### 4 スポーツ

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
全事業の年間参加率 (%)	47	40	40	40	40
総合体育館の一人当たり年間利用回数 (回)	5	5	5	5	5
町民プールの一人当たり年間利用回数 (回)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
パークゴルフ場の一人当たり年間利用回数 (回)	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0
体育系生涯学習指導者登録数 (人)	16	20	20	20	20
スポーツ関連施設数 (箇所)	6	6	6	6	6

設定の考え方
全事業の参加人数/当該年度人口の H30 年度末数値の水準を維持
年間利用者数/当該年度人口の H30 年度末数値の水準を維持
年間利用者数/当該年度人口の H30 年度末数値の水準を維持
年間利用者数/当該年度人口の H30 年度末数値の水準を維持
体育系生涯学習ボランティア登録者数の H30 年度末数値の水準を維持
R元年度 (現状) のスポーツ施設数を維持

#### 5 芸術文化、文化財

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
文化団体数 (団体)	21	21	21	21	21
町民文化祭入場者数 (人)	1,533	1,600	1,600	1,600	1,600
無形文化財公開回数 (回)	8	10	10	10	10

設定の考え方
文化団体協議会加盟団体数の R元年度の現状数値の水準を維持
人口は減少しているが、町民文化祭入場者数 1,600 人を目標
無形文化財公開回数の R元年度現状数値の水準を維持

6 地域間交流、国際化

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
友好市町相互交流年間参加人数(人)	13	14	14	14	14
ふるさと会交流回数(回)	3	3	3	3	3
外国語表記施設数(箇所)	2	2	2	2	2
A L T配置数(人)	2	2	2	2	2

設定の考え方
受入・派遣中学生及び市内交流中学生数
札幌・北海道福島会(東京)の総会と代々木公園で開催される北海道フェアでの交流回数
横綱記念館・青函トンネル記念館で外国語表記の充実
複数配置を継続

(5) 心をつなぎ、次代につなぐまちづくり（住民活動、行財政）

1 コミュニティ

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
地域生活学級年間開催数（回）	3	5	5	5	5
コミュニティ活動支援事業数（件）	5	5	5	5	5
町内会館等建替・改修・解体件数（件）	1	3	4	2	1

設定の考え方
地域生活学級年間開催数は現状3回だが、5回を目標
町内会を中心に「花いっぱい運動」「光の」 <sup>まち</sup> 経事業を実施しており、継続的に支援
公共施設維持保全計画に基づく整備

2 まちづくり活動、女性の参画

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
各種審議会の女性委員の登用割合（%）	38	38	38	38	38

設定の考え方
H27年度の各種審議会等における女性参画委員割合38%を維持

3 広報・広聴、情報発信

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
戸別受信機を活用した広報活動（件）	350	385	425	425	425
町政懇談会の開催（回）	1	1	1	1	1

設定の考え方
年3%程度増加
年1件以上を目標に取り組む（事業説明会等も含む）

4 行政運営

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
職員定員管理適正化計画に基づく役場の職員数（人）	90	92	92	92	92
職員研修の年間開催数（回）	33	33	33	33	33

設定の考え方
再任用職員を含む第4次職員定員管理適正化計画に基づき、H31年度の職員数を83人で設定
H30年度の職員研修の実績を水準として維持

## 5 財政運営

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
財政調整基金の年度末残高 (百万円)	1,208	1,157	1,121	1,062	1,016
町税収納率 (%)	91	91	91	91	91
経常収支比率 (%)	90%以下	90%以下	90%以下	90%以下	90%以下
実質公債費比率 (%)	15%以下	15%以下	15%以下	15%以下	15%以下
広報等による財政状況の公表 回数 (回)	2	2	2	2	2

設定の考え方
財政健全化判断比率における実質赤字比率の早期健全化基準が15%であるため、2倍の財政調整基金の確保を指標
過去5年間の収納率の平均値は90.25%であり、目標数値を91%で設定
90%以上で財政構造が硬直化していると判断されるため、90%以下の指標で設定
18%以上で起債許可団体となるため、同意団体のままの18%以下の指標で設定
条例に基づく公表回数を指標設定

## 6 広域行政

目標とする指標	現状/R元	R2	R3	R4	R5
共同で行っている事務・事業 の件数 (件)	20	20	20	20	20

設定の考え方
共同で行っている事務・事業を維持